

# MAENAN SAH Journal Vol11

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Sep. 7th, 2023

## ★『サステイナブル・ブランド

## Student Ambassador めぶく会議 in 前橋』★

『サステイナブル・ブランド Student Ambassador めぶく会議 in 前橋』は、『前橋市』や、『前橋市内の企業』や『組織』に対し、『前橋市内の高校生』が『まちづくり』や『サステイナブルな取組』をテーマに『意見形成プラットフォーム「Liquid (リクリッド)」』を活用し、『高校生同士』で意見交換をしながら、『まちづくりの提案』や、『さまざまな取組提案』を考え、実際に『前橋市政』や『企業活動』に活かしていただくことを目的とした『デジタルとリアル』を融合した『探究学習会議』です！

当然、前橋南高等学校は『前橋市内の高校』ですので、この『Student Ambassador』として大いに期待されております。また、『SAH』に取り組んでいることも期待されている理由のひとつです！このプロジェクトで、前南パワーを発揮してみませんか？

『月1回のWEB、またはリアルのワークショップ』と『Liquid』を活用した『WEB上でのアイデア共有や意見交換』をとおし、『企業や前橋市とコラボレーション』ができるのです！『答えのない社会課題』にあふれるこの世の中で、あなたのアイデアが多くの前橋市民に役立つかもしれません！あなたのアイデアを提案してみませんか？

最終発表会は『1/27土』です！詳しい情報が届き次第、連絡いたします！たくさんの前南生の応募をお待ちしています！



## ★『デジタルグリーンシティ前橋』について

前橋市は、ビジョン「めぶく。」に沿って、共助型未来都市「デジタルグリーンシティ」を目指しています。市民参画による官民共創のまちづくりが始まったのは10年前。『デジタルの力』を活用し、市民の時間と心の余裕を生み出す『スローなまちづくり』に着目し、2016年「めぶく。」というまちづくりビジョンを掲げました。2022年、国の『デジタル田園都市国家構想』によるデジタルのさらなる発展や『Well-Being の概念』によって「めぶくまちづくり」が加速。「めぶく。」のもと、市民によって生み出し育まれる『共助型未来都市』を「デジタルグリーンシティ」と呼ぶことにしました。デジタルグリーンシティは、『リアルとデジタルが融合』することで、技術が人に寄り添い、誰一人取り残されることなく、新たな価値を芽吹かせ続けるまちを目指しています。まさに『Society5.0』を具現化する街づくりですね！



みなさんにとって『いまの前橋市はどう』ですか？みんなは『これからの前橋市をどうしたい』ですか？みなさんは『うちの学校いいでしょ！』と言えるようにすることから『SAH』を始めているわけですが、『前南』のみならず、『前橋市』をよくするアイデア出しに挑戦してみませんか？案内が届きましたら、すぐにお知らせします！友達と応募してみてください！ 文責：星野 亨（教頭）

### ★校長より★

MAENAN SAH Journal Vol.10にある「18歳意識調査」の結果をご覧ください。『自分の行動で国や社会を変えられると思う』のは26.9%と6カ国の中で極端に低いのが日本です。ただ読み飛ばすのではなく、『何でだろう』と一度真剣に考えてみましょう。テレサ・ケイ・アバ・ケネディさんは『私は可能性そのもの。私の考えが現実を作る』と言っています。ここまで自信を持つとは言いませんが、全ての前南生には可能性が潜んでいると私は思っています。前南生、声を上げましょう、私たちは皆さんの背中を押す準備はできています。

校長 関根 正弘